

スマイルさん



児童センターでの小学生との交流

理解を深められるよう、当ボランティアセンターでは平成28年11月より、高校生ボランティアサークル「まごの手」を立ち上げました。現在は、飯田下伊那の8校中5校より18名の生徒がメンバーとして登録しており、市内各所でさまざまなボランティア活動を行っています。毎月一回の定例会では、いつものようなボランティアを行うか、メニューを増やすにはどうするか、企画・運営の全てを高校生たち自身が考

## 高校生が考える 地域とのつながり

第94号 増ページ号

平成29年9月  
発行  
社会福祉法人飯田市社会福祉協議会  
〒395-0024 飯田市東栄町3108-1  
さんとびあ飯田  
TEL: 0265-53-3040  
FAX: 0265-53-3186  
HP: <http://www.iidashakyo.or.jp/>  
e-mail: [is@iidashakyo.or.jp](mailto:is@iidashakyo.or.jp)  
印刷  
龍共印刷株式会社

● おもな内容 ●

- |      |                           |
|------|---------------------------|
| 1面   | スマイルさん                    |
| 2面   | 赤い羽根共同募金                  |
| 3面   | 4~9月の事業報告                 |
| 4面   | ちょっといいお話                  |
| 5面   | 料理で脳トレ                    |
| 6・7面 | 東日本大震災復興支援<br>高校生ボランティア事業 |
| 8・9面 | ベルマークの報告と協力依頼一覧表          |
| 10面  | おマメで8コマ劇場                 |
| 11面  | 掲示板・おマメでクイズ               |
| 12面  | おマメの部屋                    |

### 高校生ボランティア サークル「まごの手」

それぞれ違う学校や学年の高校生たちが、毎月一回授業の後に、さんとびあ飯田に集まって定例の会議をしています。今回のスマイルさんは、高校生ボランティアサークル「まごの手」のメンバーと活動をご紹介します。



デイサービスセンターへの訪問の様子

え、実行しています。同サークルが実施した主な活動は、デイサービスセンターへの訪問、児童センターでの小学生との交流、地域のお祭りのお手伝い、近隣公園の草取り等、幅広い範囲でのボランティアに取り組んできました。飯田OIDE長姫高校3年生では、「まごの手」会長の伊藤慎一郎くんは、「少しでも地域の方々の力になれるよう、今後も活動していきたいと思っています。」との想いを話してくれました。当ボランティアセンターでは、今後もこのような若い世代の皆さんが福祉に興味を持って、ボランティア活動等に積極的に取り組めるよう、福祉教育等を通じた支援をしていきたいと思っています。

「まごの手」に参加してくれる高校生のメンバーを募集しています。詳細は、飯田市ボランティアセンター(53-3182)へお問い合わせください。



じぶんの町をよくするしくみ

# 赤い羽根共同募金

今年も皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

期 間：平成29年10月1日～12月31日

**29年度目標額 14,800,000円**



## 飯田市配分計画

共同募金は助成計画を事前に定める計画募金です。今年ご協力をお願いする募金で以下の事業を計画しています。

### 高齢者のために

**4,673,914円**

高齢者の集い、敬老会、ふれあいサロン、健康づくり事業、敬老の日祝品の贈呈他

### 障がいのある方のために

**942,586円**

障がい者交流会、希望の旅事業、施設備品補助他

#### 《ありがとうメッセージ》

普段とは違うおもちゃに夢中になり、時間があつという間に過ぎていくようで「もっと遊びたい!」「ゲームよりおもちゃで遊ぶ!」と子ども達のお楽しみになりました。想像力、集中力を自然と身につけられるので、他の活動への取り組む姿にも良い変化がみられます。みんなで大切にに使わせていただきます。(障がい者施設より)

### 子どもたちのために

**1,792,330円**

私立保育園・児童養護施設への補助、特別支援学級設置校への歳末激励金、福祉教育図書整備事業他(小・中・高校に図書購入補助をしています。)

#### 《ありがとうメッセージ》

空気清浄機を2台購入させていただき、0歳児と1歳児の保育室に設置することができました。おかげで、おむつ替えの際の臭いがこもらなくなり、感染症の予防やアレルギー対策等、保育室を衛生的な環境に保つ事ができるようになりました。市民寄付者の皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。(私立保育園より)

### 住民全般の福祉のために

**1,345,170円**

地域福祉活動の支援、ボランティア団体支援、ボランティア養成講座、地区広報紙の発行他

※県共同募金繰入 **6,046,000円** (広域的福祉施設・福祉団体へ助成、災害時に備えての積立他)

## 長野県共同募金配分

### 安心・安全まちづくり活動支援配分

今年度も、まちづくり委員会等市内13地区の団体が防災関係の備品等を購入しています。



トランシーバーの購入



## 4月～9月の事業実施報告



### 『介護予防サポーターフォローアップ講座』 <7月19日(水)実施>

本講座は、市内各地区で行われている通所型サービスB事業（地域での介護予防教室）の運営に携わる“介護予防サポーター”の皆さんを対象とした講習会です。講師に、健康運動指導士の赤羽氏を迎え、運動とレクリエーションの講習を行いました。今回は、市内9地区から85名の介護予防サポーターの皆さんが参加され、サポーターさん同士で情報交換をするなど、有意義な交流を行うことができました。



### 『要約筆記入門講座』<8月19日(土)～9月16日(土) 全5回実施>

要約筆記は“話している言葉を文字に置き換えて伝える方法”です。実際に紙に書いて会話をし、相手への伝わり方を意識します。要約筆記のノウハウを知ること、少しでも聴覚障がいの方に関わる仕事や、生活に活かせるようにと皆さん受講されています。毎年、参加者は増えており、今年度は13名の皆さんが参加されました。



### 『点訳ボランティア入門講座』<7月6日(木)～8月10日(木) 全6回実施>

今年度は、開講時間を夜間にするこで、勤めている方や高校生の参加をいただきました。点字・点訳について基礎から学び、8名の参加者の皆さんはとても意欲的で、時間を忘れて真剣に取り組まれました。障がいのある方のお話をお聞きし、点字の必要性と奥深さを感じていただきました。



### 『手話入門講座』 <6月6日(火)～7月18日(火) 全5回実施>

グループワークや隣の方と手話での会話を通して、自己紹介や簡単な日常会話を学んでいただきました。和やかな雰囲気の中で、受講者同士コミュニケーションを取りながら、楽しく手話を覚えることができました。今回は、20名の皆さんが参加され、意欲的に講師に質問をしたり、隣の方同士で教え合ったりする姿を嬉しく感じました。



### 『フラダンス教室』

<6月4日(日)・6月25日(日) 全2回実施>

本講座は障がいのある方を対象に開催しました。全2回を通して、参加者6名の皆さんと一緒に楽しむことができました。

ゆったりと流れる音楽にのせて、しっかりと体を動かすことができました！本講座は2月にも実施予定です。



### 『障がい者活動サポーター養成講座』

<7月23日(日)実施>

障がいのある方の活動をサポートしてくれるボランティアさんを募集し、9名の参加者の皆さんと障がいへの理解を深めました。



参加された皆さんからは、「日常に少しでも役立たせたい」「定期的開催してほしい」という声をいただきました。

敬老の日には、笑顔で元気に過ごされている高齢の方々が報道されます。そうした高齢者の皆さんは、勤勉志向で自分の持てる能力をいかして、毎日楽しく過ごされているようです。

シリーズ  
その44



# ちよつと いいお話

レクリエーションは高齢者の心と身体の自立支援

## 高齢者にとって必要なレクリエーション

### 毎日を楽しむためのスパイス

生きる喜びや毎日の楽しみ、生きがいを見出すための活動が、レクリエーションです。若いときから続けている日常生活も、身体的な疾患や衰え、脳の衰えによってできないが増えていきます。毎日を楽しむためのスパイスとして、レクリエーションが必要なのです。

### 心の自立支援が身体自立支援につながる

体の不自由な高齢者の場合、「もうできない」と思ってしまうとリハビリも進まず、手足の運動能力も衰えてしまいます。自分から「もう1回やりたい」「明日も楽しみ」と思えるようにできれば、リハビリにもつながります。

## レクリエーションの効果

### “脳の活性化”

脳を使って楽しむレクリエーションは「脳トレ」といわれます。「分からないことを考える」「難しいことに挑戦する」などの行動が、認知症予防や認知症の症状を遅らせる効果が期待できます。



### “引きこもり防止”

高齢者は他人との接触が少なくなりがちです。集まりに参加し、他人と話したりゲームをしたりすることが、日常を楽しむための活力になります。

### “身体機能の維持向上”

レクリエーションをして身体を動かすことで、「もう少しがんばろう」「明日もやろう」という気持ちが生まれます。

## 要介護シニアにも超かんたん! ものまねエア体操で健康づくり

### ①バンザイ



両腕を上を持ち上げて、口を大きくあけて声を出す体操。全部で4回します。

#### うれしい効果

- ★肩関節の可動範囲を維持します。
- ★さらに声を出すことで気持ちスッキリします。

### ②かけっこ



手を軽く握って、腕を前後に振りながらかけっこの動作をする体操。8カウント（数える間）その場でかけっこします。

#### うれしい効果

- ★足腰の筋力を維持します。

### ③キック



片足を前に伸ばして、ボールをキックする動作をする体操。交互に4回づつします。

#### うれしい効果

- ★足腰の筋力を維持します。
- ★さらに腹筋のトレーニングにもなります。

## まめのひとり言

### 嫌われる勇氣

あるテレビ番組のドラマで、志は同じでも、仲間のためにあえて嫌われるの役を受け入れる、という生き方を選択した人物がいました。

人は誰でも嫌われることは避けたいと思うでしょう。私もできることなら、誰にも嫌われることなく暮らしていきたいと思えます。しかし、信念を持って目標に向かうときに、妥協したくない強い想いが生まれ、それが他者との摩擦になることがあります。そんなときに大切なのは、他者といかに想いを共有できるか、ということではないでしょうか。

「目標や信念のためには、嫌われることも受け入れる。」そして、同じ信念を持って共に進んでくれる仲間がいれば、更に心強くなるのだらうと思います。「あの人は嫌いだ。でも本当に尊敬できる人だ。」そんな嫌われ者は、少し違った存在なのかと思います。勇氣を持つことと仲間を作ることを、これから大切にしていきたいと感じました。

※まめのひとり言は、編集委員会へ届いたみなさんの声でつくられています。

作業療法士さん  
が考えた



# 料理で脳トシ

そろそろ秋ですね。食欲の秋・芸術の秋・スポーツの秋といわれる時期です。今回は、カボチャを使った飾り物（ジャック・オー・ランタン）と、簡単ポタージュの作り方を紹介します。

## ここに注目！

### ジャック・オー・ランタン

- ・散歩しながら、飾りつけの落ち葉を拾いに行きましょう。運動しながら探し物をして、体も心も健康に！
- ・目や口の飾りを考えて作りましょう。考えながら細かい作業をすることで、脳の働きを活性化させることが期待できます。

### カボチャのポタージュ（2人分）

- ・「カボチャの皮を包丁でむく」「フォークでつぶす」という手指の動きが、脳に刺激を与えます。
- ・いつもと違った料理をしたり、盛り付けを意識したりすることで集中力が高まり、作業中の緊張感が脳の様々な部分を刺激します。

## 準備品

- ・カボチャ
- ・紙（目・口用）
- ・落ち葉や松ぼっくりなど
- ・お皿
- ・セロハンテープ
- ・ハサミ

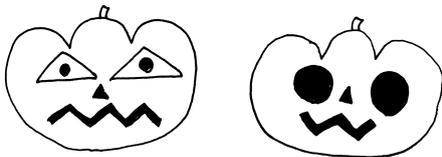


- ・カボチャ（4分の1）
- ・玉ねぎ（2分の1）
- ・牛乳（300cc）
- ・コンソメ（1個）
- ・塩、コショウ（少々）
- ・パセリ、コーヒークリーム（あれば）



## 作り方

①カボチャの大きさに合わせて、紙で目と口を作り、カボチャに貼りつけます。



②カボチャをお皿にのせ、周りに落ち葉や松ぼっくりを飾ります。



③玄関やキッチンなど、お好きな場所に飾りましょう！



①カボチャの皮をむき、一口大に切ります。玉ねぎはみじん切りにします。

②カボチャをレンジで10分温めます。もしくは、やわらかくなるまで茹でます。

③玉ねぎを炒め、②と牛乳、コンソメを入れます。カボチャは煮ながらフォークなどでつぶしましょう。

④カボチャがつぶれ、煮たってきたら、塩・コショウで味を整えます。

⑤マグカップなどに盛り付け、お好みでコーヒークリームを回したり、パセリをかけたりして、おしゃれにどうぞ！！



# 山田町立船越小学校へ ベルマークを届けました！



## 東日本大震災復興支援

## 高校生ボランティア事業

### 平成29年8月2日～5日実施

### 訪問先：宮城県本吉郡南三陸町

### 岩手県下閉伊郡山田町



全員で避難所運営訓練を行いました。  
判断力・決断力・情報共有の  
大切さを学びました。

仮設のトイレを作っています。  
みんなで考えながら、  
避難所の準備を行いました。

南三陸町では「防災キャンプそなえ」に参加しました。実際に被害があった場所を現地の方と視察途中、大地震がきた想定で避難所へ移動し、突然プログラムがスタート。避難所運営訓練や、電気・ガス・水道が止まった状態での避難所生活初日という想定で、食糧や水など物資の管理や食事の準備を行い、高校生全員で協力して一夜を過ごしました。今後、自分たちの地元で起こりうる災害に対して、日頃からどのような備えをしたらよいかを学び合うことができました。

高校生と船越小学校の生徒さんたちで、  
いろいろなレクレーションをして交流を深めました！

# みんな ありがとう！ 岩手県の



“山田町立船越小学校の生徒さんたちと”



山田町社会福祉協議会の職員の方から、  
現在の山田町の様子や日々の課題について、  
お話を伺いました。



帰るときに、バスが見えなくなるまで  
見送りをしてくださいました。



“山田町社会福祉協議会の皆さんと”



暗い中で食事の  
準備をしました

今年度、多くの飯田市民の皆様からいただいた約23万点のベルマークを、「まめボラの会（ベルマーク仕分け作業ボランティア）」の皆様に分けていただき、今回岩手県の山田町立船越小学校へ直接お届けすることになりました。船越小学校へ到着すると、11名の小学生が「来てくれてありがとう」と、元気よく出迎えてくれました。ベルマークの贈呈式をした後は、高校生と小学生で一緒にレクレーションを行い、教室に笑い声と笑顔があふれる交流会となりました。

山田町社会福祉協議会では、現在の山田町の復興状況や、住民の方への支援についてお聞きしました。職員の方は「震災から6年が経って、建物などはだいぶ復興はしていますが、私たちは今後も山田町民の心の復興を目指して支援を続けていきます。」と力強く話されました。



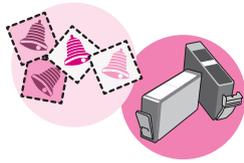
翌朝、今回の防災キャンプの振り返りを行いました。  
地元で災害が起きたときのために、  
どう備えるかを全員で一緒に考えました。



ライフラインが  
止まった状態で  
一晚を過ご  
しました。

# 東日本大震災被災地支援活動「まめボラの会」活動報告

平成29年度前期



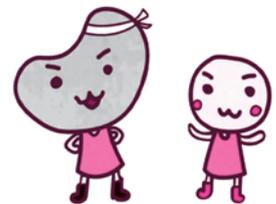
インク・トナーカートリッジ ..... 27,770点  
 ベルマーク ..... 202,474.9点  
 台 計 ..... 230,244.9点  
 (1点1円の価値となります)

「まめボラの会」始まって以来の高い点数を生み出したのは、各学校の積極的な取り組みや多くの市民の皆様のご協力があったことです。そして、集まったベルマークの仕分け、点数の集計作業をしてくださったのは、「まめボラの会」の参加者の皆様です。手間と時間がかかる大変な作業ですが、「支援しよう」という強い気持ちで皆様活動されています。皆様の多大なるご協力、本当にありがとうございました。被災地支援のベルマーク収集活動は、継続して実施しています。引き続きご協力をお願いします。



「まめボラの会」が始まって4年目。今回は東日本大震災復興支援に行く高校生ボランティアの皆さんに、岩手県の山田町立船越小学校へ整理済みのベルマークを直接届けていただくよう、お願いしました。

「まめボラの会」に参加しているシニア大学第38期生の畑上さんが、会を代表して高校生に思いを託し、ベルマークをお渡ししてくださいました。



## 《船越小学校より》

昨年度までは、応援で使う紅白太鼓の土台が片方しかなかったようですが、ベルマークで購入できたので運動会がとても盛り上がったとのこと。また、仕分けがされており、集計作業も終わって財団へすぐ送ることができる形でベルマークをいただけるのは、飯田市だけだそうです。船越小学校からは、大変ありがたいとのことのお返事をいただいています。

## ～「まめボラの会」ベルマークの仕分け・整理ボランティア募集中！～

まめボラの会では、月2回第4金曜日の午後と土曜日の午前中にベルマークの仕分け作業などを行っています。今後も継続して活動できるように、ボランティアを随時募集しています。

どなたでもお気軽にご参加ください。

日程は次のとおりです。

**日 時**… 毎月第4金曜日 午後1時30分～4時30分

第4土曜日 午前9時00分～12時00分

10月27日(金)・28日(土)

11月24日(金)・25日(土)

12月15日(金)・16日(土)

※12月は第3金・土曜日の開催です。

**場 所**… さんとびあ2階 ボランティアルーム



保存版



# ベルマーク一覧表

2017 年度版



あなたもボランティア 国内外の友だちとつなぐ愛の手

<p>ベルマーク番号01</p>	<p>ベルマーク番号 03</p>	<p>ベルマーク番号 04</p>	<p>ベルマーク番号 05</p>	<p>ベルマーク番号 06</p>	<p>ベルマーク番号 07</p>	<p>ベルマーク番号 08</p>	<p>ベルマーク番号 09</p>
<p>ベルマーク番号 10</p>	<p>ベルマーク番号 15</p>	<p>ベルマーク番号 16</p>	<p>ベルマーク番号 17</p>	<p>ベルマーク番号 18</p>	<p>ベルマーク番号 19</p>	<p>ベルマーク番号 20</p>	<p>ベルマーク番号 21</p>
<p>ベルマーク番号 23</p>	<p>ベルマーク番号 24</p>	<p>ベルマーク番号 25</p>	<p>ベルマーク番号 26</p>	<p>ベルマーク番号 28</p>	<p>ベルマーク番号 29</p>	<p>ベルマーク番号 30</p>	<p>ベルマーク番号 31</p>
<p>ベルマーク番号 33</p>	<p>ベルマーク番号 35</p>	<p>ベルマーク番号 36</p>	<p>ベルマーク番号 37</p>	<p>ベルマーク番号 39</p>	<p>ベルマーク番号 43</p>	<p>ベルマーク番号 46</p>	<p>ベルマーク番号 48</p>
<p>ベルマーク番号 51</p>	<p>ベルマーク番号 52</p>	<p>ベルマーク番号 53</p>	<p>ベルマーク番号 54</p>	<p>ベルマーク番号 55</p>	<p>ベルマーク番号 56</p>	<p>ベルマーク番号 57</p>	<p>ベルマーク番号 60</p>
<p>ベルマーク番号 64</p>	<p>ベルマーク番号 65</p>	<p>ベルマーク番号 66</p>	<p>ベルマーク番号 70</p>	<p>ベルマーク番号 73</p>	<p>ベルマーク番号 76</p>	<p>ベルマーク番号 77</p>	<p>ベルマーク番号 78</p>
<p>ベルマーク番号 83</p>	<p>ベルマーク番号 84</p>	<p>ベルマーク番号 88</p>	<p>ベルマーク番号 89</p>	<p>ベルマーク番号 91</p>	<p>ベルマーク番号 92</p>	<p>ベルマーク番号 93</p>	<p>ベルマーク番号 95</p>

※この一覧表に載っているベルマークは見本です。  
 ※ベルマーク番号12番のサンスター文具、ベルマーク番号14番の森永乳業、ベルマーク番号97番のネオファースト生命保険は2017年3月末で脱退しました。  
 2017年9月末日、財団到着分まで有効です。





社協職員  
による

# おマメで8コマ劇場



マメ子

作：林 篤史（地域福祉課）

マメ太郎

## 第23話 “おもい”のこもったベルマーク

⑤

後日、「まめボラの会の活動日」...

先日、高校生たちと一緒に、東北へ行ってききました！

長い道のり、大変お疲れさまでした！

①

ある日の、ボランティアセンターにて...

こんにちは！

私は、ベルマークの仕分け作業ボランティア「まめボラ」の会に参加しているんですよ。

いつもありがとうございます。

⑥

船越小学校へ伺い、無事ベルマークをお渡しして下さるごちやうさいです。

毎年、仕分けや集計までしてベルマークを送ってくるのは、飯田市だけのことですよ。

きょう言ってもいいですね、きょうも嬉しいですね！

②

「まめボラ」の会の皆様により、仕分け・集計された七月末までの約二十三万枚のベルマークを...

そうですね。

今回、集計したベルマークを、直接若手県へ届けてくださると聞いただけですが。

⑦

ヘルマークは、学校に必要な備品に交換して活用して下さるごちやうさいです。

先生や生徒さんから、「大変感謝しています。このお言葉をいただきました。」

「まめボラ」の会の活動を継続してきこうかったです！

③

飯田下伊那の高校生たちが代表として、若手県の山田町立船越小学校へお渡しに伺います。

それは、ありがとうございます！

ヘルマークの仕分け・集計は、とても地道な作業ですが、復興支援へつながると思っています。

⑧

市民の皆さんや、私たちボランティアの「おもい」が、ベルマークにも届けられています！！

「おもい」をしっかりと届けました！

今後もおもしろい活動をお願いします！

被災地支援のベルマーク収集活動は、今後も継続していく予定です。皆様のご協力をお願いいたします。

④

多くの市民の皆様と、まめボラの会の皆様「おもい」が込められたベルマークを...

大切に届けます！

よろしく、お願いいたします！

職員役：松村 陽子    ボランティア役：杉本 めぐみ（地域福祉課）

### 読者のコーナー

皆様からお寄せいただきましたハガキ・メールの中から、93号の感想を一部抜粋してご紹介します！

「スマイルさん」各地区の活動の状況をうらやましく、楽しく読ませていただきました。

座光寺 70代男性

作業療法士さんが考えた七夕飾りを、子どもと一緒に作りました。また、楽しく作れるものを教えていただきたいです。

上郷 30代女性

さくらの会の参加者の皆さんが、素敵な表情で表紙に載っていました。高齢者予備軍の私も、今後あんな笑顔で過ごしたいと思いました。

天龍村 50代女性

食中毒が蔓延する時期となったので、家族皆で再確認して予防に努めたいです。市内の状況がはっきりとわかり、いつも楽しみにしています。

松尾 80代女性



# 掲 示 板



## “結婚してほしい”子供をもつ親御さんセミナー ～親の立場からどうする？ 婚活のススメ！～

なかなか結婚しないわが子に、どう結婚を勧めたらよいか…どう接したらよいか…言ってはいけないことってあるの？…そんな疑問にお答えする婚活プロの講演会です。

- 日 時 平成29年10月21日(土) 13時30分～16時20分
- 場 所 飯田勤労者福祉センター3階 第3・4研修室
- 講 師 ながの結婚支援センター代表 溝端 勇二 氏
- 対 象 50歳までの独身の子を持つ親御さん
- 定員/会費 100名/無料
- 締 切 平成29年10月13日(金)
- 申込み・お問い合わせ 飯田市社会福祉協議会 結婚相談所事務局  
☎0265-53-3182



## 第3回 障がい者 文化芸術作品展 開催のお知らせ

飯田市社協では、芸術活動に取り組んでおられる障がいのある方の作品を展示し、その鑑賞を通して、社会参加の促進を図ることを目的とした作品展を開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

【開催期間】  
平成29年11月7日(火)～  
12日(日)

【会 場】  
飯田美術博物館 1階  
市民ギャラリー



ちょっと  
一息

## 「おママで」クイズ??

社協報「おママで」94号の中からクイズです。答えと右記の要項を添えてぜひご応募ください。  
クイズに正解された方の中から抽選で5名に図書カードをお贈りします。

応募要項(ハガキで応募される場合)

- 1 飯田市ボランティアセンターが立ち上げた高校生ボランティアサークルの名称は？
- 2 今回、高校生が復興支援活動でベルマークを届けた岩手県の小学校は、山田町立船越小学校である。  
○か×か？
- 3 ベルマークの仕分け・整理を行ってくださる、当社協のボランティアの会の名称は？

62	〒395-0024	①クイズの答え
	飯田市社協 「おママで」編集委員会 行	飯田市東栄町三〇八一
		②住所
		③氏名 ④年齢
		⑤電話番号
		⑥「おママで」の感想

応募締切 10月末日(当日消印有効)

メールの応募方法  
(2通りあるよ!)

- ① omamede@iidashakyo.or.jp  
にメール送信!
- ② 当社協のホームページから応募!  
おママでクイズに参加してね

95号の誌面にてクイズの答え・当選者の発表を行います。

※ご応募の際にいただいた個人情報はプレゼント発送以外には使用いたしません。

※匿名表現でご感想を次回号に掲載させていただく場合がございます。ご了承ください。

### 93号のクイズの答え

飯田市内の通所型サービスBについて、現在は○9地区で●11教室が運営されています。

### 当選された方

- ・伊藤 政江様 (橋北) ・今村 妙子様 (羽場) ・熊谷 貞己様 (松尾)
- ・市澤 由美子様 (上郷) ・伊藤 照子様 (天龍村)

おママで体操  
イメージキャラクター



マメ太郎 マメ子

多くのご応募ありがとうございました!



各情報の申し込み・お問い合わせは…

飯田市ボランティアセンター

(さんとびあ飯田 飯田市社協内)

電話 53-3182

FAX 53-3183

HP <http://www.iidashakyo.or.jp>

-参加者募集中の講座-

**災害救援ボランティア養成講座**

- 日時：①平成29年11月19日(日)  
9時00分～12時00分
- ②平成29年11月26日(日)  
9時00分～18時00分
- ③平成29年12月3日(日)  
9時00分～16時00分

■場所：さんとびあ飯田他

■定員：30名

**おうちでボランティア  
してみませんか??**

使わなくなったタオル・バスタオル・シーツ・綿のTシャツ等を、市内の高齢者市福祉施設等で清拭用として再利用しています。洗濯した清潔な物を、15センチ×20センチ位(フェイスタオル8分の1サイズ)の大きさに切って、当ボランティアセンターへお届けください。

**布切専門のボランティアさんも募集しています!**  
詳しくは飯田市ボランティアセンターまでご連絡ください。

**学生が主役!! ボラセンではこんな事業を行っています!!**

飯田市ボランティアセンターでは、福祉教育の一環として多くの学生の皆さんに福祉に関心をもっていただけるよう、各種事業を行っています。ここでは、今年度のこれまでの取り組みをご報告させていただきます!!

**いずみの家が教えるパン作り教室 <6/17・7/2実施>**

障がいに対する理解を深めることを目的に、中学生と高校生7名、小学生とその保護者4組8名による親子教室を開催しました。講師には、社会福祉法人 希望の虹「いずみの家」の皆さんにお願いしました。参加者の皆さんからは、「丁寧に作り方を教えてくれて、楽しくできてよかった」「とても楽しかったし、一緒にパンが作れてよかった」等の感想をいただきました。

**サマーチャレンジボランティア  
<7/28~8/13実施>**

夏休み期間中に、飯田市内の福祉施設や保育園・幼稚園でボランティア体験をすることで、福祉への理解と関心を高めていただくことを目的に、毎年実施しています。今年度は12校からのべ438名の中・高校生に、ボランティア体験をしていただきました。ご協力いただいた福祉施設、保育園・幼稚園の皆様にご感謝申し上げます。

**出前福祉講座**

この講座は、福祉に関する専門的な学習または体験を通し、理解を広めてもらうために、市内各学校を対象に実施しています。今年も「手話コース」「点字コース」「視覚障がいコース」「車イスコース」「高齢者疑似体験コース」「認知症サポーター養成講座」等を中心に実施し、約1,200名の生徒さんが受講されました。

